



小平スポ協だより

(第35号)

発行／(一社)小平市スポーツ協会

発行責任者／荒武宗昭(編集/広報部会)

連絡先／042-349-1350(スポーツ協会事務局)

ホームページ/<https://kodaira-sa.org/>

市民総合体育館の指定管理を終えて！

スポーツ協会 会長 荒武宗昭

平成27年度から続けて来ました、市民総合体育館の指定管理者も、2期10年目の今年3月末日をもって無事に終了する事が出来ました。

「小平市スポーツ協会(当時の体育協会)」を代表事業者として、「東京フットボールクラブ株式会社」との共同事業体により、市民



総合体育館の管理・運営に邁進して来た、この10年間であります。小平市の補助団体である、スポーツ協会が市民総合体育館を運営すると言う事は、並大抵な事ではなく、市内部にあっても、心配の声が有ったと聞いています。しかし、スポーツ協会は、第1期より第2期に入り、選定審査会での成績を更に伸ばす事が出来たのです。

まずは、「親切でやさしい窓口」を合言葉に、利用者に愛される体育館を、第1の目標に掲げ運営を始めました。体育館利用者の数も、わずか1年で年間26万人から28万人に増やすなど、順調なスタートを切る事が出来たのです。

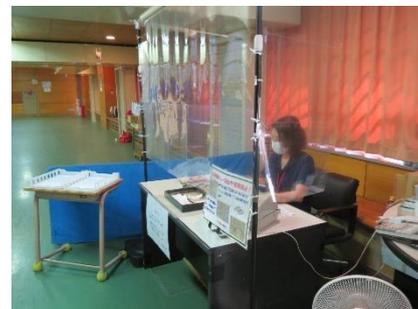


しかし、そこに思いもよらぬ“新型コロナウイルス感染症”と言う壁が立ち障りました。

一番苦しかったのは、この頃で、体

育館が完全封鎖に追い込まれそうになった時期でもありました。我々体育館職員も明日の見えない状況の中、入館者1人1人の体温を測定し、手指の消毒に、

マスク着用での完全防備。卓球台などのスポーツ器具や体育室のドアノブから館内全ての施設の消毒に明け暮れる日々が続きました。まさに、体育館運営の危機的状況を経験させられたのです。



本来、スポーツ団体である当協会が、あの厳しい数年間の施設管理業務を乗り越えたと言う事は、また一つ“地域に根差したスポーツ活動団体”として、大きく成長する事が出来たのだと考えております。

平成22年に「一般社団法人小平市体育協会」を立ち上げてから15年、小平市のスポーツの主要事業(こだいら市民駅伝大会、少年少女マラソン大会、歩け歩け事業他)の多くを主管してから13年が経ちました。小平市スポーツ協会は、今年度から、以前の体制に戻りますが、当協会に課された責任は、以前に比べ、さらに大きくなって来ているように思えます。

今年の4月からスポーツ協会事務局は縮小され、皆様にはご不便をおかけする事にもなりますが、引き続き、33加盟団体の皆様と一丸となって、小平市のスポーツ振興に努力して参りたいと考えておりますので、これからも、今まで以上のご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

今まで「体協だより」の新しい名前を検討して来ましたが、この度、代表委員や理事の方々の意見を反映し、「小平スポ協だより」と変更することになりました。

今後とも、小平市スポーツ協会の広報誌として、発行して参りますので、ご購入の程よろしくお願いいたします。 広報部

令和7年新年賀詞交歓会盛大に開催！

本年1月10日（金）「一般社団法人小平市スポーツ協会新年賀詞交歓会」が、昨年に引き続き「ホテルエミシア東京立川」にて開催されました。

来賓に、小林小平市長、松岡市議会議長をはじめ6名の方々をお迎えし、また、加盟団体からは33団体58名の関係者が出席され、総勢83名で盛大に執り行われました。



荒武会長 挨拶



小林市長ご挨拶

まず会の冒頭では「令和6年度小平市スポーツ協会表彰」の受賞者の発表のほか、今年度に東京都スポーツ協会、東京都市町村スポーツ協会連合会などから表彰を受けられた皆様がスクリーンを通して紹介されました。交歓会は、片山専務理事による乾杯の音頭で始まり、歓談後の余興では「ビンゴゲーム」が行われました。景品付きということもあり、会場内は笑いとお声で盛り上がりました。各テーブルでは、日頃面識の少ない皆さん同士の会話も弾み、あちらこちらで笑い声が絶えない空間となりました。



歓談風景

予定のプログラムも滞りなく進み、大木常務理事の閉会の挨拶と手締めにより閉会となりました。

お帰りの際の皆さんは満面の笑顔で、この会がとても楽しく有意義なものであったことの証のように思えました。

【記：小平市スポーツ協会職員】

第45回新春歩け歩けのつどい

1月5日（日）に開催されました「第45回新春歩け歩けのつどい」は天候に恵まれ総勢406名の参加をいただき、盛大に実施されました。



今年の“つどい”では、来賓に小林市長をはじめ、国会議員、都議会議員、市議会議員、

の方々が数多く参加され、今年も良い年になるようにとのご挨拶を頂きました。また、当日は90歳以上の参加者が2名おられましたので、つどいの中で紹介をさせて頂きました。準備体操を行いその後、荒武会長のピストルの合図で皆さん元気にスタートしました。



今年には西回りのコースで、市役所→たかの街道→津田保育園

園通り→都営津田団地→鎌倉橋→玉川上水緑道→子どもキャンプ場→大けやき道→青梅街道→市役所の順で約8kmを歩きました。参加者は、友達や家族との会話を楽しみながら歩き、子どもキャンプ場では、スポーツ協会加盟団体のブースを設け、団体を紹介するパンフレット等を配布するとともに、チョコレートや飴などの提供を行いました。ゴールの市役所では、干支のバッジや開運干支の巳の置物、温かい甘酒のお土産をもらっての解散となりました。

なお、今年の歩け歩け事業の表彰者は、120回が1名、100回が1名、50回が1名、30回が2名、10回が6名でした。表彰者には、後日表彰記念品を送付いたしました。



第45回こだいら市民駅伝大会

2月2日(日)に開催されました、第45回目となる市民駅伝大会は、前日の天気予報では雪の予報が出る中、実行委員会では当日の早朝に集合し、実施できるかの難しい判断を余儀なくされました。実行委員長の小林市長の強い希望により実施決定をし、予定通り準備に取り掛かりました。



青木教育長ご挨拶

小雨のため開会式を急遽中央公民館ホールで行い、小林市長、松岡市議会議長、青木教育長にご挨拶をいただき、大木審判長の注意事項の後、無事に開会式を終えることが出来ました。気温3.3度の小雨の降る非常に寒い中、22チームの棄権はありましたが、なんとか予定通りのスタートとなりました。

一般男子が62チーム、一般女子が15チーム、中学生男子が20チーム、中学生女子が5チーム、シニアAが13チーム、シニアBが7チームの合計122チームの参加をいただき、それぞれのチームカラーを發揮しながら、1人3.1キロのコースを4人でタスキを繋ぎ走り抜けました。

この駅伝大会は、公道をコースとするため、多くの交通規制が必要となります。一般道の通行止めや片側通行を始め、西武バス、にじバスなどの路線バスにも運休をお願いし開催をしています。

また、小平警察署、小平消防署、小平交通安全協会、東京経済大学陸上競技部、など数多くの機関にもご協力を頂き、



ランナーの安全を最優先に考え、沿道の応援者の皆さんにも事故の無いよう最大限の注意を払って開催しました。

各種目の優勝チームは、一般男子の部「錦城高校陸上部A」、一般女子の部「チーム激走」、シニアAの部「陸上自衛隊小平学校」、シニアBの部が「小平一中

陸上部OBのA」、中学男子の部が「小平三中男子A」、中学女子の部の「小平二中陸上部」がそれぞれ優勝しました。今大会での、区間新記録は、一般女子の部の1区、シニアAの部の4区、中学男子の部の1区で新記録が出ました。

小雨の降る寒い中、小平警察署員、小平消防署員、小平交通安全協会の皆様、多くの役員の皆様には感謝申し上げます。また、駅伝コース近くにお住いの方々には、毎年ご協力を頂き心から感謝申し上げます。

第2回スポーツ協会研修会

3月1日(土)に開催された第2回小平市スポーツ協会研修会は、加盟団体各会長(代表者)及び代表委員他63名の参加がありました。

今回の研修会は、令和7年度から市民総合体育館を含めた「小平市南西部地域の体育施設等への包括的指定管理者制度導入及び中央公園グラウンド改修について」また、導入に伴い10年間務めてきた市民総合体育館指定管理者が終了することによる「小平市スポーツ協会の今後の事務処理体制等について」を主題とした説明会形式で開催されました。

始めに、文化スポーツ課より説明があり、来年度から管理・運営を「こだ



いらパークコネクトグループ」(代表法人1社、構成法人9社)が市民総合体育館を含む小平市南西部地域の体育施設を運営していく報告がありました。中央公園グラウンドの改修では、フィールドの人工芝化・トラックの全天候型化・多目的エリアの整備が重点目的となり、また、体育館の第一駐車場が有料化されることも分かりました。

続いてスポーツ協会より、今後の事業内容については、加盟団体の育成、市からの委託8事業、そしてジュニア育成事業及びシニア振興事業を継続して実施していくこと。スポーツ協会の営業日・営業時間、窓口受付行等についての説明がありました。

その後の質疑応答は、体育館利用時の備品等の貸出について及び加盟団体を含む、体育施設利用者の駐車場料金についての質問が多数出ました。

トピックス（ジュニア育成事業）

“ソフトテニス ジュニア育成講習会”

ジュニア育成地域推進事業が始まった2006年の当初から、小平市ソフトテニス連盟は本事業に参画し、以来、毎年夏季と冬季の年2回、市内中学生を対象にした「ジュニア育成講習会」を行なっています。



連盟としては、当初より「今、頑張って練習している子どもたちの少しでも力になれば」という思いを貫き通しながら、現在に至っています。コーチも外部から招聘し、実業団で活躍中の現役選手が直接指導してくれることもあります。

令和6年度は、夏季の第1回目が令和6年6月30日（日）に、渡辺さん（ヨネックス女子チーム監督）と大谷さん（ラケットショップフジ）のお二人を招き、2校42名の生徒の参加の中行われました。冬季の第2回目は、さる1月13日（祝・月）に、大谷さん（前述）をコーチに招いて、3校55名の生徒の参加の中行われました。連盟からは10名ほどの応援スタッフが加わり、基本技術の確認から試合形式の実践練習までを生徒一人一人に目を配りながら懇切丁寧な指導が行われました。



現在小平市の中学校は三中、四中を中心に対外試合で良い成績を収めており、都大会への出場の常連校になっています。この講習会がこのような生徒たちの活躍の一助になっていくことを念頭に、連盟の大切な事業として継続していくつもりです。

（小平市ソフトテニス連盟役員）

トピックス（シニア振興事業）

“ピンポンチャレンジ”

（シニア初・中級者親睦ダブルス大会）

2月15日（土）に東京都のシニアスポーツ振興事業の一環で開催しています。

“Ping Pong Challenge” 大会は、小平市在住・在勤の60歳以上の卓球の初級者・中級者を対象に毎年開催しているものです。

今年も、連盟主催の大会などにはまだ出場



来ない初心者の方や、あまり勝負にこだわらない健康維持のために卓球をやっている方などが、12チーム24人出場してくれました。



今年の選手たちは、66歳から79歳までで、平均年齢は

73.9歳となりました。参加選手たちは、それぞれに、勝ったり、負けたり、自分たちのペースで楽しんでくれていました。

初級・中級に分けて6チームずつのリーグ内総当たり戦を行いました。優勝、準優勝チームの試合などでは、あの1ポイントが勝敗を分けた、と思えるような大接戦が展開されました。



この大会の、主催者は、東京都・（公財）東京都スポーツ協会・（一社）小平市スポーツ協会。主管団体が、小平市卓球連盟で開催されています。